



# けやき

自立する子

《学校教育目標》

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

第8号 令和4年11月1日

## 学力テストの結果から

校長 五十嵐 和彦

1学期に実施された県学力学習状況調査（4～6年生対象）の結果から、本校児童の課題が明らかになってきました。

### ＜学習面＞

国語については、各学年とも「言葉の特徴や使い方」「読むこと」については、概ね県平均と同等でした。しかし、「書くこと」については、県平均を下回ってしまいました。日頃から日記を書いたり、感想を書いたりして、文章を書くことに慣れることが大切です。学校では、学習の振り返りを書かせ自分を見つめる機会をつくっています。



算数については、「数と計算」については比較的よくできているものの、データの活用についてはやや課題となっています。論理的な思考力を高めることが大切です。題意を正確につかみ、筋道立てて考える力が必要です。

学力の向上のためには「読解力」を養うことが必須です。そのためには日頃から読書に親しみ、たくさんの文章を読むこと、体験活動を通して生きた知識を身に付けることが大切です。自分の課題を見極めて、その解決のために目標設定し、計画的に取り組むことが大切です。

### ＜生活面＞

「登校時刻を守る」については、比較的よくできていると答えた児童が多く、県平均を上回っています。その一方で、次の項目については自己評価が低くなっています。

- ▼「あいさつ」
- ▼「話を聞き発表する」
- ▼「学習準備」
- ▼「集団の場での態度」

特に今年度の年間生活目標として掲げている「あいさつ」については、相手に「伝える・伝わる」を意識して、元気なあいさつができるよう働きかけていきます。

テストの結果に一喜一憂することなく、次世代を担うよりよい人材を育成するという目標に向かって、成長を見守っていきたいと思います。

## 10月の活動から



10/12 応援団解団式



10/13 ゴールボール体験



10/14 車椅子体験



10/14 高齢者擬似体験



10/25 2校親善体育大会

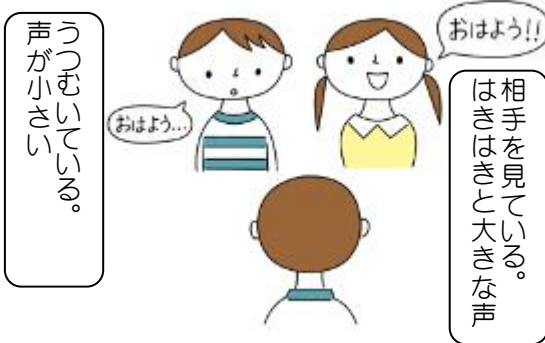


宮前小アートギャラリー

## 11月のお話朝会から

# 「ソーシャルスキル」について考えよう!

子供たちの人間関係の中で様々なトラブルが発生しています。その原因の一つに、人と上手く関われないケースも多くあります。昔は、人との関わり方を家族や近所の大人から自然に学ぶことができました。異年齢での遊びも多く、集団の一員として関わっていくコツを学ぶことができました。しかし、今は社会の変化とともに子供の遊びも様変わりし、ゲームなど人と関わり合う機会が少なくなっています。こうした背景から今までは当事者同士で解決できていたトラブルも、大人が介入しなければ解決できない問題へと発展するケースも少なくありません。そのような状況の中で注目されているのが「ソーシャルスキル」で、「人づきあいのコツ」と言い換えることもできます。人と関わる時の声の大きさやイントネーション、表情、視線、相手との距離、しぐさや動作などのコツを身に付けておくことで、関係を良好に保つことができます。また、場に合わせた表現をすることも大切なポイントです。次のような場合、どのような行動をとればよいのでしょうか。



元気のない表情をしている友達に大声であいさつする。相手の気持ちをおろそかにしていることになるかな...



先生に叱られている友達に対して、唐突に声をかける。今は声をかけるのにふさわしいときかな...

○「自分にもいい、相手にもいい」という Win-Win な関係をつくる = アサーティブな関係

○ソーシャルスキルは対人関係ではありません。

- ・ドアを乱暴に閉める動作  
→相手に嫌な気持ちを引き起こします。  
乱暴だという印象を与えます。

